

2026年度 SYLLABUS 【博士後期課程】

授業科目名	演習Ⅱ		
担当教員名	藤沼 司		
ディプロマ・ポリシー (DP) との関係			
	DP1	DP2	DP3
	○	○	○
科目のテーマ	<p>「演習Ⅰ」では、履修者各自が学位論文を執筆するに当たって、「経営哲学研究」や「マネジメント論」の広範な分野のうち、博士論文執筆に当たっての考究の焦点を絞ることを目的とした。</p> <p>「演習Ⅱ」では、焦点化した分野を深耕し、考究をさらに深める。</p>		
科目内容・方法等	<p>上記のテーマを念頭に置きながら、各自の重点テーマにかかわる最新の研究成果の批判的な読解を進め、説得力のあるオリジナルな解釈を行うことを目的として、研究の骨格を固めていく。「学位論文執筆認定審査」を通過できるよう、適切な論文作成指導を行うとともに、年度ごとに行われる「研究報告会」で、その内容を報告してもらう。適宜、学位論文につながるレポートを作成してもらう。</p> <p>詳細については、履修者と相談の上で、決める。</p>		
到達目標：			
経営哲学研究やマネジメント理論研究の観点を踏まえて、研究テーマに即した論文執筆の基礎を確立すること。			
評価方法及び評価基準：			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 受講時の態度（積極性の有無）や発言内容（質問、意見等）、レポート等によって総合的に評価する。 ・ 成績評価は、60点未満をF、60～69点をC、70～79点をB、80点以上をAとする4段階とし、C以上の評価に単位を与える。 ・ 各評価の基準は以下の通り。 <ul style="list-style-type: none"> A評価：授業内容を応用できるのみならず、批判的にとらえることを含めて、当該理解をさらに発展させられること。 B評価：授業内容の理解に基づいて、より広いケースにその理解を応用できること。 C評価：授業内容について、概ね理解していること。 			
授業の方法：			
一緒に輪読しながら、議論を重ねる。			

